2022年3月期　第3四半期（2021年4月～12月）
決算説明資料

株式会社MCJ

2022年2月4日

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

2022年3月期 第3四半期（4月～12月）における主なトピックス

業績サマリー

□ 売上高は第3四半期（会計、累計）としての過去最高を更新

- 3Q会計期間においては**グループ主要会社全社が前期同四半期比増収**を達成
- 原材料・部材不足等の厳しい環境下、パソコン事業は国内海外共に前期比増収
- コロナ禍、苦戦が続く総合エンタメ事業は増収、赤字幅が大幅に縮小
- 新会計基準適用の影響*1を除く**実質ベースでは3Q会計期間は前期比増益**

業績に係るトピック

□ 国内パソコン関連事業は前期比増収減益

- 軟調な市場環境・調達環境等にも関わらず、**3Q国内パソコン関連事業は増収**
  - 増収の一方、原材料・部材価格高騰や新会計基準適用の影響*1等にて前期比減益

□ 海外パソコン関連事業は順調に推移

- iiyama（欧州モニター事業。2020年7月～9月）は**前期比増収増益**を維持
- R-logic（東南アジア事業。同上）は2Qのロックダウン後堅調に回復し**黒字転換**

□ 総合エンターテインメント事業は赤字額が大幅に縮小

- ネットカフェ事業は堅調に回復、24時間フィットネス事業は3Qとして四半期黒字達成
  - 前期実施の各種コストカットや構造改革に加え、売上が堅調に回復し赤字額大幅縮小

その他トピックス

□ 2Qに一部棚卸資産の評価減を実施も、第３四半期累計期間（4月～12月）としては2022年3月期通期業績予想に沿った水準で推移

※1）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年３月31日）等の適用。以下同様

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

連結業績サマリー (1/2)

2022年 3月期 第3四半期 実　績	4月～12月 累計期間	□ 累計期間としての**売上高過去最高**を更新 ➢ 売上高：　1,373億円　　（前期比　9.6%増） ➢ 営業利益：　103億円　　（同　13.2%減） - 軟調な市場環境や調達環境にも関わらず売上は好調に推移 - 一方で、原材料・部材付属に伴う価格高騰やサプライチェーンの混乱、新会計基準適用の影響等により**前期比減益**
	10月～12月 会計期間	□ 会計期間としての**売上高過去最高**を更新 ➢ 売上高：　486億円　　（前期比　12.4%増） ➢ 営業利益：　32億円　　（同　8.1%減） - 国内（10月～12月）・海外（7月～9月）パソコン関連事業共に前年度四半期比増収を達成 - 総合エンターテインメント事業は赤字基調が継続も赤字額大幅縮小 - グループ全体では前年同四半期比減益も、新会計基準適用の影響を除く**実質ベースでは前年同四半期比増益**

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

連結業績サマリー (2/2)

軟調な事業環境下、売上高の成長基調を維持
第３四半期会計期間・累計期間の双方にて過去最高売上高を更新

（百万円）	会計期間（10月～12月）			累計期間（4月～12月）		
	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減率	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減率
売上高	43,253	**48,627**	**12.4%**	125,373	**137,391**	**9.6%**
営業利益	3,514	**3,230**	**△8.1%**	11,955	**10,378**	**△13.2%**
経常利益	3,520	**3,184**	**△9.5%**	12,235	**10,695**	**△12.6%**
親会社株主に帰属する当期純利益	2,338	**2,211**	**△5.4%**	8,705	**7,421**	**△14.8%**

- 国内パソコン関連事業は第3四半期会計期間にて**前期比増収も減益**
- 海外パソコン関連事業は第３四半期会計期間（７月～９月）**増収増益**
- 好調な売上の一方で、原材料・部材価格高騰等により、減益基調が継続も**3Qにて減益幅は縮小**

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

参考）一時要因を除く実質ベース

新会計基準適用の影響等の一時要因を除く
実質ベースでは第3四半期会計・累計期間共に営業増益

新会計基準適用の影響を除いた実質的な営業ベースでは**前期比増収営業増益**

新会計基準適用の影響及び2Q計上の在庫評価減を除いた実質的な営業ベースでは**前期比増収増益**

（百万円）	会計期間（10月～12月）			累計期間（4月～12月）		
	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減率	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減率
売上高	43,253	**48,965**	**13.2%**	125,373	**138,405**	**10.4%**
営業利益	3,514	**3,532**	**0.5%**	11,955	**12,107**	**1.3%**
経常利益	3,520	**3,486**	**△1.0%**	12,235	**12,424**	**1.5%**

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

第3四半期（4月～12月）　連結損益計算書

軟調な需要や調達難等にも関わらず売上成長が継続
利益面では減収も期初業績予想の想定の範囲内にて推移

（百万円）	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	売上対比	金額	売上対比	増減金額	増減率
売上高	125,373	100.0%	**137,391**	**100.0%**	12,018	9.6%
売上原価	95,122	75.9%	**107,526**	**78.3%**	12,404	13.0%
売上総利益	30,251	24.1%	**29,864**	**21.7%**	△ 386	△1.3%
販売費及び一般管理費	18,296	14.6%	**19,486**	**14.2%**	1,189	6.5%
営業利益	11,955	9.5%	**10,378**	**7.6%**	△ 1,576	△13.2%
経常利益	12,235	9.8%	**10,695**	**7.8%**	△ 1,540	△12.6%
税金等調整前当期純利益	13,008	10.4%	**10,616**	**7.7%**	△ 2,391	△18.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	8,705	6.9%	**7,421**	**5.4%**	△ 1,284	△14.8%

事業環境は軟調に推移も増収を達成

原材料・部材価格高騰や新会計基準適用の影響等により**利益率は減少**

将来の成長を見据えた人件費増及び売上増に伴う変動性費用増により前期比増額も対売上比率は微減

以上の結果、**期初想定通り水準の減益**となる

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

参考）一時要因を除く実質ベース

新会計基準適用の影響及び第2四半期に計上した一部棚卸資産評価減の影響を除く実質ベースでは対前年同期比で増収増益

（百万円）	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	売上対比	金額	売上対比	増減金額	増減率
売上高	125,373	100.0%	**138,405**	**100.0%**	13,031	10.4%
売上原価	95,122	75.9%	**106,691**	**77.1%**	11,569	12.2%
売上総利益	30,251	24.1%	**31,713**	**22.9%**	1,461	4.8%
販売費及び一般管理費	18,296	14.6%	**19,605**	**14.2%**	1,309	7.2%
営業利益	11,955	9.5%	**12,107**	**8.7%**	152	1.3%
経常利益	12,235	9.8%	**12,424**	**9.0%**	188	1.5%

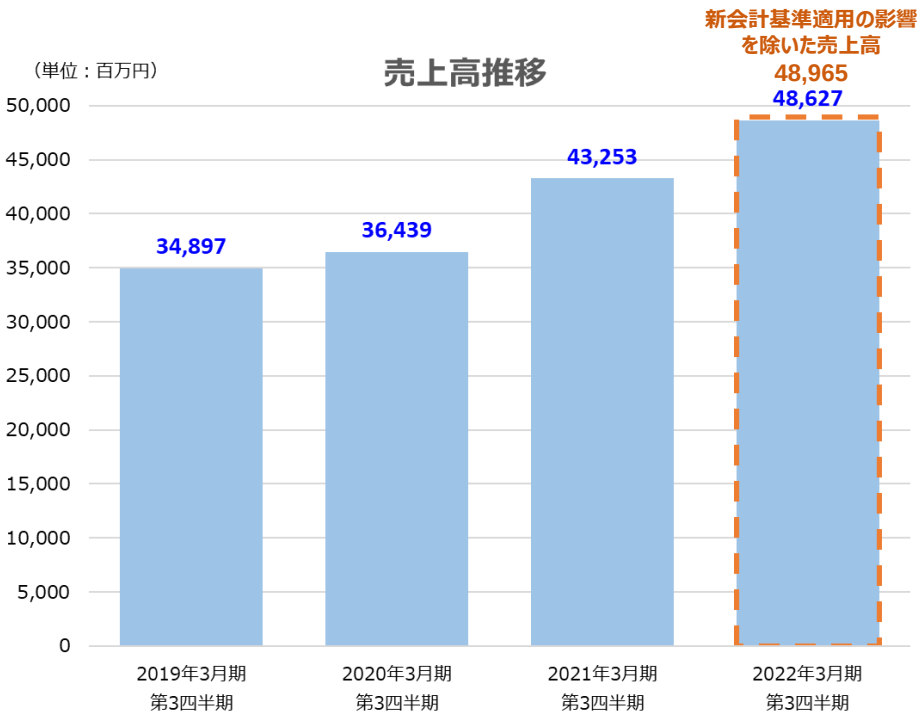
Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

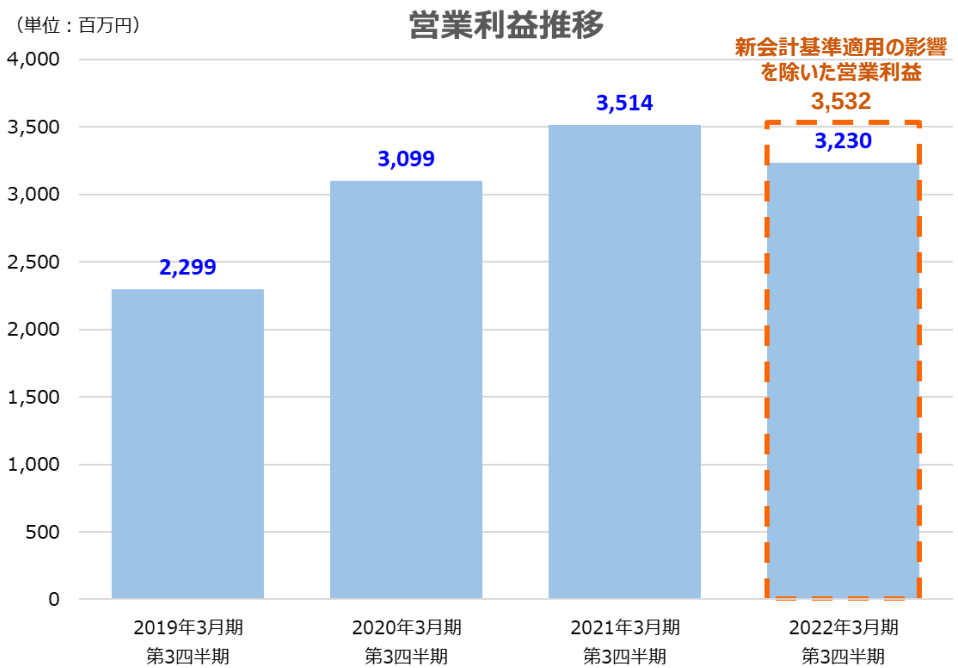
第3四半期（10月～12月）連結業績推移グラフ

グループ主要会社全社が前年を上回る売上を達成
新会計基準適用の影響を除く実質ベースでは前期比増益を達成

困難な事業環境下、パソコン関連事業は国内・海外共に在庫確保や営業施策により増収を達成。総合エンターテインメント事業も四半期での増収が継続し、連結ベースでも増収を確保

国内パソコン関連事業は減益、海外は増益。総合エンターテインメント事業は赤字額大幅縮小。新会計基準適用の影響除く実質ベースでは増益基調を維持





Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

参考）対前年比推移_上半期及び第3四半期会計期間での比較

期初業績予想通りに対前年比増収減益で推移も
前期比で好調な売上成長の更なる拡大を受け**3Qにて減益幅は縮小**

（百万円）	2021年3月期 第3四半期 累計期間	2022年3月期 第3四半期 累計期間	前期比	2022年3月期 上期 前期比	2022年3月期 第3四半期 会計期間 前期比
売上高	125,373	**137,391**	109.6%	108.1%	**112.4%**
営業利益	11,955	**10,378**	86.8%	84.6%	**91.9%**
経常利益	12,235	**10,695**	87.4%	86.1%	**90.5%**
親会社株主に帰属する当期純利益	8,705	**7,421**	85.2%	81.8%	**94.6%**

対前年比での売上増収率が3Qにて更に上昇。結果**利益面での対前年比減収幅も3Qでは上半期よりも縮小**し、新会計基準適用の影響除くと増益を達成

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

第3四半期（4月～12月）　通期連結業績予想に対する達成率

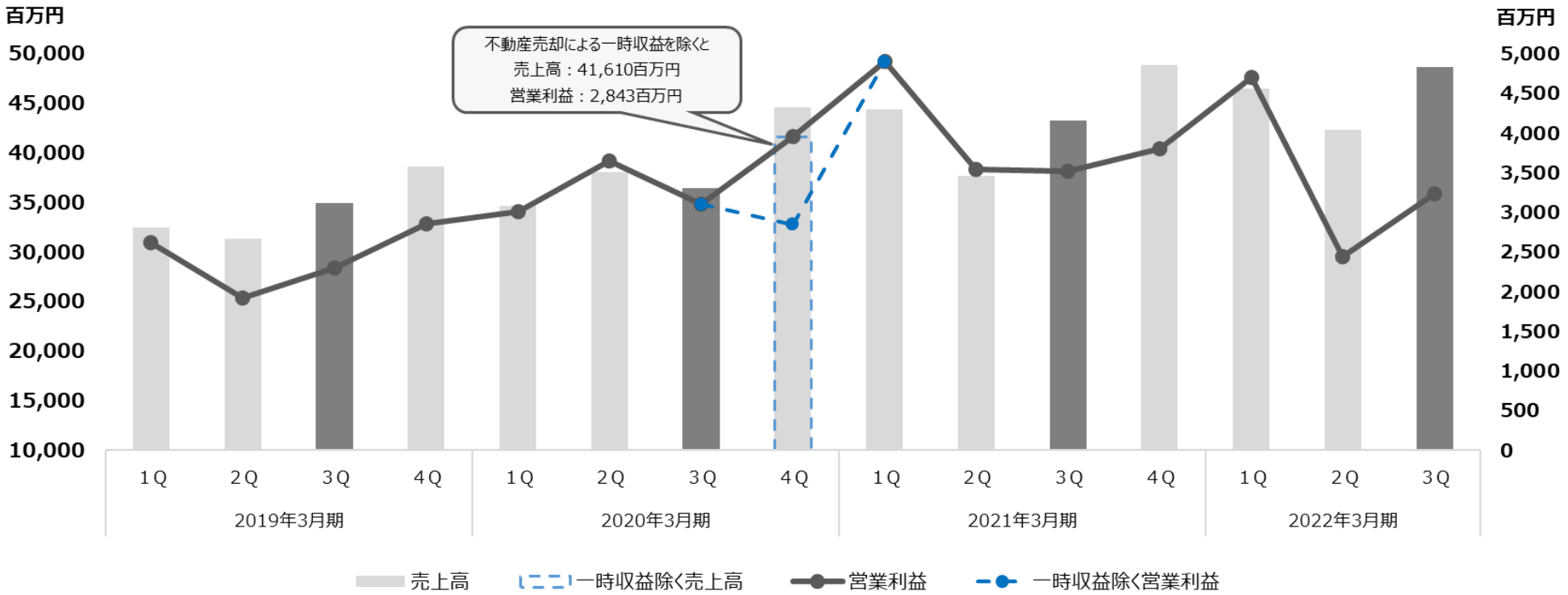
通期連結業績予想に対し、**売上高は若干上回り**推移
各利益はほぼ計画通りに進捗

（百万円）	通期連結業績計画に対する達成率		
	2022年3月期 第3四半期 実績	2022年3月期 通期予想	達成率
売上高	**137,391**	168,400	81.6%
営業利益	**10,378**	14,700	70.6%
経常利益	**10,695**	14,900	71.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	**7,421**	10,000	74.2%

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

第3四半期（10月～12月）連結業績推移

売上は第3四半期会計期間としての過去最高を更新
調達やサプライチェーンの混乱、新会計基準適用の影響により減益も高い利益水準を維持し
第3四半期会計期間としては過去２番目の水準の営業利益を計上



（百万円）	2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売　上　高	32,489	31,293	34,897	38,583	34,654	38,075	36,439	44,565	44,420	37,698	43,253	48,799	46,473	42,290	48,627
営 業 利 益	2,616	1,922	2,299	2,849	3,007	3,645	3,099	3,954	4,900	3,540	3,514	3,803	4,702	2,445	3,230

※　上記表の2020年3月期4Qには、不動産売却による一時収益を含んでおります。

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

セグメント情報　第3四半期　4月～12月実績

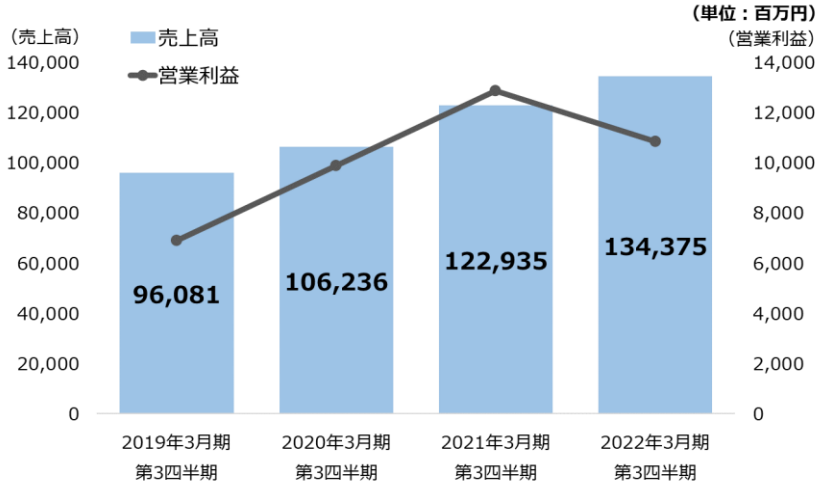
ロ パソコン関連事業

➢ **売上高　　1,343億円（前期比 9.3%増）**

- ゲーミング等のハイスペックPCを中心に3Q（10月～12月）**国内事業は３社共に対前年比増収**
- **海外事業2社も対前年比増収**（iiyama, R-logic。3Q_2021年７月～９月）

➢ **営業利益　　108億円（同 15.7%減）**

- 調達難や新会計基準適用の影響等により国内事業は**前期比減益**
- **iiyamaは前期比増益が継続。**2Q（4月～6月）一部地域でのロックダウンの影響を受けた**R-logicも順調に回復**し利益を積み上げ



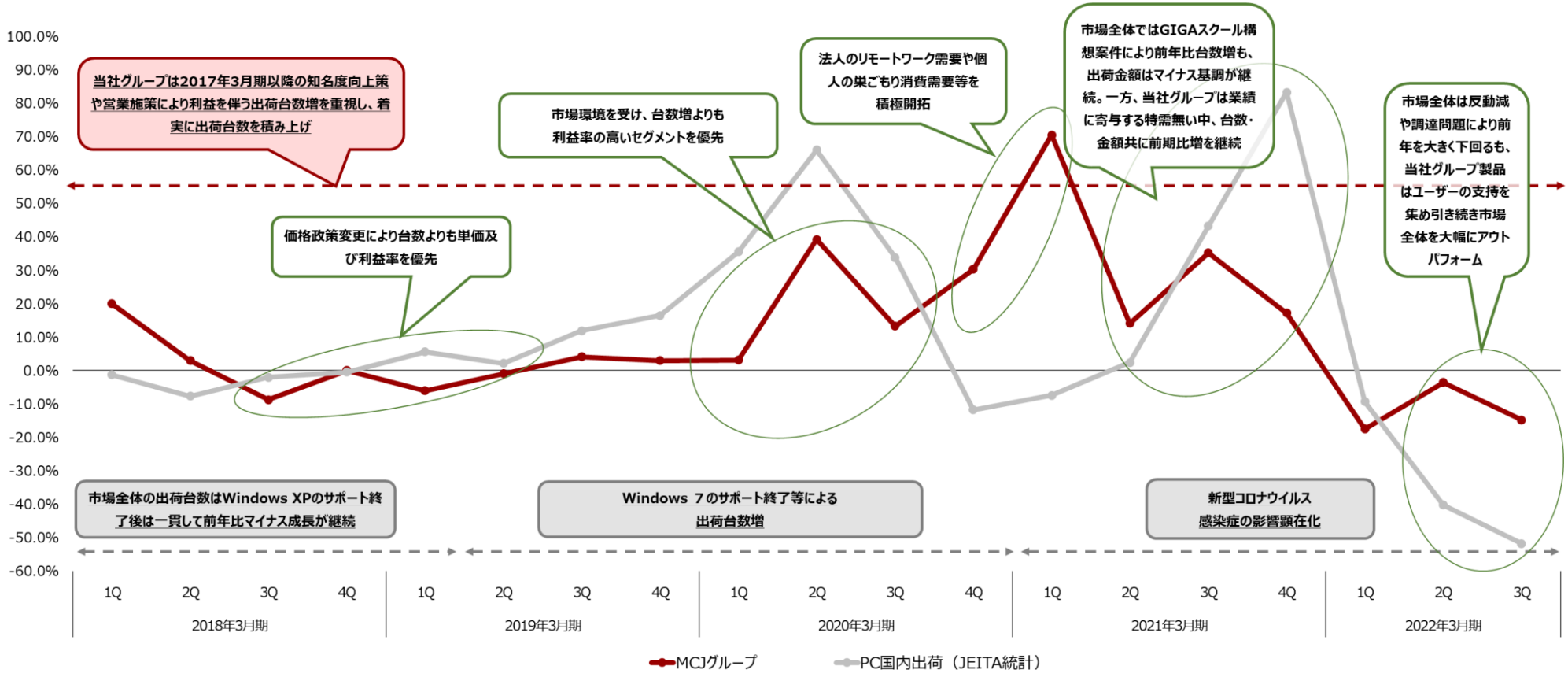
パソコン関連事業（百万円）	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減額	増減比率
売上高	122,935	98.1%	134,375	97.8%	11,440	9.3%
営業利益	12,854	107.5%	10,840	104.4%	△ 2,014	△15.7%

※　上記表には、連結消去及び全社費用等の金額が含まれていないため、「連結売上高」数値と各セグメント数値の合計値とが異なります。なお、構成比は、「連結売上高」数値を基に算出しております。

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

国内パソコン出荷台数増減率の推移

市場全体はWindows7更新やGIGAスクール等の特需の反動及び原材料・部材調達難により
大きく対前年を下回り推移
一方、当社グループはその様な環境下もユーザーの需要を集め前期比で出荷台数大幅増
市場を大きくアウトパフォームする流れが継続



※ 上記グラフは、四半期（会計期間）ごとの出荷台数実績を前年同期と比較したものです。

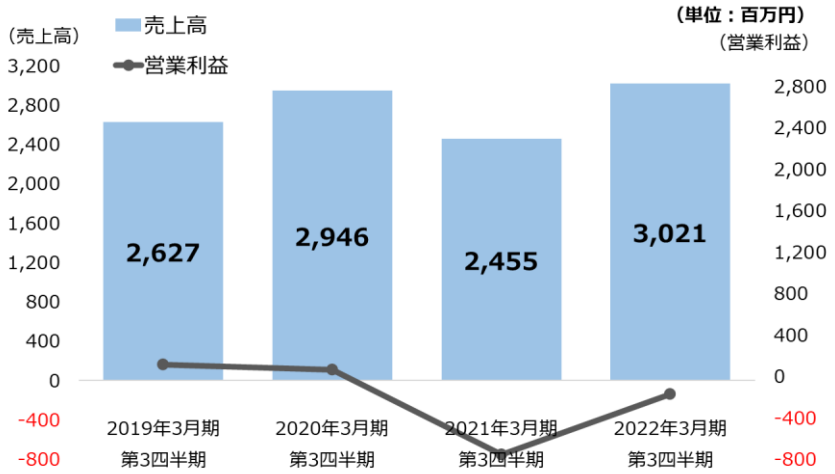
Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

セグメント情報　第3四半期　4月～12月実績

ロ 総合エンターテインメント事業：株式会社aprecio、株式会社MID

【ネットカフェ、24時間フィットネス、接骨院・整体院、ホテル運営事業】

- **売上高　　30億円　（前期比 23.1%増）**
  - ネットカフェ事業は順調に業績が回復。3Qも**増収基調が継続**
  - 24時間フィットネス事業も、堅調に利用会員数増加し**増収継続**
  - その他事業は前期比**ほぼ同等の水準**で推移
- **営業利益　△1.7億円　（－）**
  - ネットカフェ事業は赤字幅大きく縮小し**回復基調**を維持
  - 24時間フィットネス事業は、**想定通り3Qにて四半期黒字**を達成
  - その他事業はコロナ禍マイナスの影響が継続し**赤字が継続**



総合エンターテインメント事業（百万円）	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減額	増減比率
売上高	2,455	2.0%	3,021	2.2%	566	23.1%
営業利益	△ 755	－	△ 174	－	580	－

※　上記表には、連結消去及び全社費用等の金額が含まれていないため、「連結売上高」数値と各セグメント数値の合計値とが異なります。なお、構成比は、「連結売上高」数値を基に算出しております。

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

中期経営計画進捗サマリー

		目標値	実績
2022年 3月期 第3四半期 4月～12月	営業利益率	6～7%程度	7.6%
	ROIC	12%以上	通期にて開示予定
	ROE	12%以上	通期にて開示予定
	配当性向	30%以上	30.0%（計画）
	DOE	4.5%程度	通期にて開示予定
	業績推移	□ 軟調な市場環境の中、売上高は好調を維持し過去最高を更新。利益面は調達難等のマイナス影響あるも、高い売上水準に伴い期初業績予想に沿って推移	
	事業運営方針	□ 調達面やコロナ等の事業環境の不透明感を鑑みて、大型M&A、新規事業や地理的拡大戦略等の多額のキャッシュアウトや大きなリスクを伴う活動は一旦休止 □ 足元は将来の成長への備え＝事業基盤整備を優先 □ 現状の事業運営方針 ● 【PC関連事業】：収益性重視×成長の見込まれる分野への少額投資 ● 【総合エンターテインメント事業】：コスト削減×投資（新規出店）抑制 ● 全社：社内体制整備等の事業基盤強化への取り組みを優先	

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

株主還元①　配当金について

2022年3月期の配当金予想は中計にて掲げる配当性向30%以上を維持し、
当初計画では30%と想定する

	実績※					予想
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
年間１株当たり配当金	13円00銭	18円00銭	20円50銭	23円50銭	31円00銭	30円52銭
配当性向	25.1%	30.1%	30.2%	30.6%	30.5%	30.0%

□ 2022年3月期1株当たりの予想期末配当金額は30円52銭

» 現時点においては配当性向下限の30%を業績予想数値に適用
» 業績動向その他を勘案の上、最終的な還元水準を決定

※ 2018年3月期以前の1株当たり配当金は2018年7月実施の株式分割の影響を過去にも遡り適用した参考数値

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

株主還元②　株主優待制度について

引き続き2022年3月期も株主優待制度を実施予定

①1,000株以上

1万円相当の当社オリジナルカタログ
（グループ製品及び飲食料品を予定）より1点選択＋②

＜商品一例＞
AirBar／15.6型液晶ディスプレイ
パソコン工房1万円商品券／米沢牛すきやき肉
うなぎ蒲焼／アイスセット／日本酒セット　等
※右記商品はご参考までに前期のものを掲載しております。
今期の商品とは異なる旨ご了承下さい。

②100株以上1,000株未満

『パソコンワンコイン診断サービス』利用券
（500円×2枚）

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

Appendix

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

会社概要

商号	：	株式会社MCJ　（英語表記　MCJ Co.,Ltd.）
設立	：	1998年8月
代表者	：	代表取締役会長兼CEO　髙島　勇二 代表取締役社長兼COO　安井　元康
資本金	：	3,868,102,900円
従業員数（連結）	：	2,157名（2021年3月末）
発行済株式数	：	101,774,700株（同上）
証券コード	：	6670（東京証券取引所第2部上場）

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

MCJグループ　主要子会社紹介

MCJ HOLDING COMPANY

パソコン関連事業（海外）

- iiyama：モニタの開発及び販売
- RLOGIC（Redefining Reverse Logistics）：PC及びモニタ等のIT機器の修理・サポート

パソコン関連事業（国内）

- mouse：PC及び周辺機器の開発・製造・販売
- UNITCOM：PC, PCパーツ、周辺機器等の販売
- TEKWIND：PC, PCパーツ、周辺機器等の卸売・販売

総合エンターテインメント事業

- aprecio（comics & internet cafe）：複合カフェ「aprecio」、24時間フィットネス「MIRA fitness」運営

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

長期的な経営ビジョン　～ハードウェア×サービスの両輪による成長～

経営ビジョン及び事業方針

相乗効果

	取扱製品（ハード）の拡充	コンテンツ・サービス分野への事業領域の拡大
設定の背景/考え方	# 情報に「アクセスする、発信する、共有する」手段としてのデバイスの多様化とユーザーニーズの多様化 ■ 形は変われども情報への接点としてのハードウェアは無くならない ■ ハードウェアは成長産業	# ハードウェア・サービスはそれぞれ独立関係では無く、相互依存関係であり、ビジネスとしても一貫して捉えるのが自然 ■ ハードウェアよりも事業ドメインは意外とスタティックな世界 ■ ハードウェア以上の成長ポテンシャル
方向性/目標	◻ PC、モニタへの注力は継続 » 日本・欧州における更なる成長を模索 ◻ コンシューマーハードウェア / 法人向けハードウェア… » 成長市場へのアクセスを図る	◻ 既存ハード事業と親和性のあるサービス等の開拓 » 日本市場を中心としてスタート ◻ コンシューマー/法人向けサービス… » まずはスモールスタート
目標達成手段	◻ 自社グループによる開発 ◻ アライアンス戦略による拡大 » M&A、ベンチャー投資、事業提携…	◻ M&Aによる事業ドメインの拡大 ◻ アライアンスによるサービス多様化 ➢ 当初はVB投資 / 少額M&Aにて着手

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

経営上重視するKPI

重要視するKPI	実績数値及び目標数値				
	2016年3月期実績	2019年3月期実績		新中期経営計画期間における目標	
営業利益率 <営業利益/売上高>	5.0%	7.1%	→	**6～7%程度**	連結ベースで概ね6%～7%程度を目安に事業運営及びポートフォリオ管理を実施
ROIC <NOPAT/事業性投下資本>	12.4%	17.6%	→	**12%以上**	エクイティースプレッドを確実に取れる事を前提とし、資本効率を意識した事業運営及びポートフォリオ管理を実施。その前提で下限を12%と設定
ROE <当期純利益/期中平均株主資本>	13.0%	18.3%	→	**12%以上**	
配当性向 <配当総額/当期純利益>	20.5%	30.2%	→	**30%以上**	下限を30%と設定し、M&Aを含む成長投資機会との兼ね合いにて都度判断
DOE <ROE×配当性向>	2.7%	5.5%	→	**4.5%程度**	成長投資と株主還元のバランスを意識した経営を行うべく、今回新たに設定

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提として作成されており、実際の業績等は様々な要因によりこれらの見通しとは異なる可能性がありえます。

当社は、これらの将来の見通しに関する事項を常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。

尚、実際の業績等に影響を与えうる主な項目例は以下の通りとなりますが、将来見通しに影響を与える項目はこれらに限定されるものではありません。

» 当社グループの事業領域を取り巻く各種経済情勢
» 当社グループの製品・サービスに対する需要
» 新製品等開発に係る当社グループの能力及び新製品・サービスの動向
» M&Aや他社との事業等の提携
» 資金調達環境、為替動向等の財務を取り巻く環境
» 事故・自然災害等

< IR及び本資料に関するお問い合わせ>

株式会社MCJ
経営企画室 広報IR担当

Mail : ir-otoiawase@mcj.jp
HP : www.mcj.jp/

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.

MCJ

HOLDING COMPANY

Copyright(C) MCJ Co.,Ltd. All rights reserved.